

**事業所名** グループホーム ちかのり苑  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 7月23日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 簡易郵便局経営  
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員  
B:現職 介護支援専門員  
資格・経験 ホームヘルパー2級、介護福祉士、介護支援専門員、認知症ケア専門士

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### 外部評価の結果

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・グループホームが位置する高梁市は、備中の小京都と言われ、数多くの文化遺産に恵まれた城下町であり、緑深い山々や穏やかに流れる高梁川の自然に恵まれた環境の中で入居者は生活している。時おり、外からは小鳥のさえずりも聞こえ、心を癒し和ませる環境でもある。
- ・「お互いが互いの気配りで慈愛と奉仕の精神のもと、同じ目的に向かって一体性を持ちながら機能し行動する組織」という法人の理念は、グループホームの理念としても浸透している。
- ・居室は、全室南向きで採光も良く、オープンキッチンに続くリビングは広々としている。ゆったりとした空間の中、日々の食事作りなど、入居者の長年の経験を活かした取り組みを行っている。
- ・入居者一人ひとりが、髪型や服装の身だしなみ、おしゃれ等、自分らしく自己表現できるように支援している。入居者一人ひとりの尊厳を大切にしており、入居者の皆さんの表情も明るい。
- ・経験者・有資格者の職員が多く、介護の基本姿勢をわきまえ、常に柔和な態度でさりげなく入居者に寄り添っている。入居者一人ひとりを大切にした支援を心掛けている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

- ・ホームは、入居者の生活の場として清潔で明るく、入居者を支える職員の態度も申し分ないものを感じた。各種記録類や記述方法等々、書類の整備については、これから軌道に乗せていく段階であり、課題だと思われる。今後は、職員全員に呼びかけ、相互に研究・学習を重ねて意識を高めていけば、徐々に整備されていくと思う。
- ・現在は、法人一体の運営ではあるが、今後は、グループホーム独自の運営に移行していく方針とのこと。日々の献立や買物等さらに改善していけば、より一層家庭的なグループホームとして入居者の暮らしを支えられ、地域との交流も深まっていくと思う。
- ・グループホーム内の職員会議、ミニ会議、臨時会議などを設け、活発な意見交換を重ねて職員間の意識統一を図れば、よりスムーズな運営が行えると思う。

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慈愛と奉仕の精神を持ち、「いつも笑顔で」をめざしている。</li> <li>・認知症であっても、「自分らしく」「その人らしく」をテーマとして支援している。</li> <li>・入居者の多様なニーズに応え、人間としての尊厳を保ち、プライバシーの確保や人格を尊重した支援を心掛けている。</li> <li>・心のごもった温かい生活空間を提供し、入居者・家族・職員が共に安心して過ごせるホームをめざしている。</li> <li>・入居者一人ひとりの希望や意向の把握に努め、入居者の思いや今までと変わる生活の場の提供に努めている。</li> <li>・入居者の好きな事や得意な事などの役割作りを行い、日々、生き甲斐のある生活を送ってもらうように努めている。</li> </ul>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は、入居者との信頼関係づくりに努め、入居者の自由な感情の表出を尊重し、支えている。</li> <li>・入居者の無言のサインを見落とすことがないように努め、気付いた時にはそっと近くに寄り添い、対応している。</li> <li>・入居者同士の関係を把握し、気の合う者同士の入浴や居室訪問などを見守り、ちょっとした気持ちの変化にも気を配っている。</li> <li>・リビングには、南向きの広いガラス窓から光が差し込み、明るい。天井扇で空気の換気もでき、心地よくゆったりと過ごせる共用空間となっている。</li> <li>・職員側の都合を優先せず、入居者の自由なペースに合わせ、帰宅願望の人など、納得するまで寄り添い支えている。</li> <li>・入居者が孤立することがないように、「私の事を知ってくれている人が、いつも傍にいてくれる」という生活空間づくりを行っている。</li> </ul>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		○
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議		○
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援		○
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援		○
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		○
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者一人ひとりのプライバシーや誇りを尊重し、入室時にはノックをして承諾を得てから入り、言葉掛けや言葉の調子にも細かい配慮を心がけている。</li> <li>・面会に関しての記録は、入居者それぞれの個人記録に直接記録し、個人の情報が漏れることがないように守秘義務の徹底を図っている。</li> <li>・昔うどん屋を営んでいた方から、うどん作りの指導をってもらう等、入居者それぞれの得意分野での経験を活かせる場面作りを行っている。</li> </ul>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に2回、避難訓練を実施している。また、緊急時に備え、連絡網を作ってホーム内に掲示している。</li> <li>・事故報告書とヒヤリハットを作成し、再発防止に向けてのミーティングを開き、その内容は記録に残している。</li> <li>・家族が意見や要望を言いやすいように、一階の玄関に意見箱を設置している。</li> <li>・介護相談員を派遣してもらい、入居者の立場に立った意見や悩み等を聞き、ホームの運営や日々のケアに活かしている。</li> <li>・定期的に運営推進会議を開催し、地域の方の意見や要望をホームの運営やサービスの向上に活かしている。</li> <li>・内部研修や外部研修を行い、職員の育成や日頃のケアを見直す機会とし、日々のケアサービスの向上に向けて取り組んでいる。</li> </ul>		